

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 2 月 25 日

【評価実施概要】

事業所番号	0590200069
法人名	社会福祉法人 能代市社会福祉協議会
事業所名	能代市緑町グループホーム
所在地	秋田県能代市緑町7-17 (電話) 0185-54-8511
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成20年11月25日

【情報提供票より】 (平成21年2月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成12年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 3人, 非常勤 8人, 常勤換算	3.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 平屋 造り
	1 階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,500 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有 (円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		780 円	

(4) 利用者の概要 (2月5日現在)

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名
要介護1	3	要介護2		3	
要介護3	2	要介護4		1	
要介護5		要支援2			
年齢	平均 80 歳	最低 63 歳		最高 90 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	秋田社会病院・島田病院・鈴木歯科
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

能代市の中心街に位置し、病院や商店、福祉施設等が近隣にあり、生活環境の豊かな1ユニットのホームです。職員は、日中はパート職員によって人員配置を厚くされ、また、夜間帯には夜勤専用職員2名が配置され、緊急時等に備える等手厚い職員体制をとられています。運営推進会議等を通じ、地域への認知度も高く、併設施設で行われる行事への参加者も多く、気軽にホームに立ち寄ってくださったり、ホームからも地域のお宅に向き、庭先にてお茶を一緒に楽しむ等の交流が図られ、地域に根差したホームづくりが行われております。職員・利用者ともに、協働しているかのように、「できること」が自然に取り入れられ、明るく楽しんで生活している姿の観られるホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回、大きな改善項目はなかったのですが、細かなところで評価を活かされ、改善に取り組まれておりました。
重点項目①	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	職員全員で自己評価に取り組み、各項目の理解と今後の取り組みについて話し合いが持たれ、管理者が記入をされ、再度、職員の同意を得ております。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	2か月に1度の定期的な開催が行われており、包括支援センター、地区自治会長、民生委員、法人代表者、利用者家族等がメンバーとなっています。ホームの状況や介護保険制度、行事、防災訓練、実地指導・外部評価等について理解を深められ、メンバーとの活発な意見交換によってそれを活かした取り組みが行われています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	契約時の説明や掲示によって、苦情のあった場合の対応はできております。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営推進会議を通じて、地域の方々へのホーム状況が伝えられ、各種の行事への参加や散歩中の立ち寄り、地域の方の庭先でのお茶のみ等、地域の一員としての活動が行われております。また、避難訓練では、地域の方々の参加・協力も得て実施され、日常的に地域との連携が図られています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初から地域との関わりを盛り込んだ事業所独自の理念作り出しておられます。	○	地域密着型として、簡潔で分かりやすい理念の構築を期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内の目に触れるところに掲示をされておられ、日常的な関わりの中で振り返り、介護職員は要点を押さえて理念を話すことができる等浸透が図られています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一員として、地域行事への参加や併設施設での行事に地域の方々と共に参加し、交流を深めている他、犬の散歩の方が立ち寄ってくださったり、外でレクリエーションを楽しんでいる時に一緒に参加していただいたり、近所に出向き、庭でお茶をご馳走になる等、地域との交流は盛んに行われておられます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価の意義を理解され、評価を活かし、積極的に取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の運営推進会議が、包括支援センター職員、近隣自治会長、民生委員、法人代表者、利用者家族代表者等によって構成され、グループホームの意義、制度、行事、防災等々について活発な意見交換が行われ、サービスの向上に活かした取り組みをされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者への情報の提供や情報交換が行われ、サービスに繋げております。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2か月に1回発行される写真入りのホーム便りによって、利用者の様子がわかりやすく伝えられる他、支払い等の訪問時には出納状況を明らかにされ、状況報告が行われております。また、他にも面会時や状態変化時には電話等で報告が行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話での状況報告時の説明と意見・要望の引き出しが行われています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新しい職員を受け入れやすいように自己紹介や話掛けによって、大きな混乱もなく、受け入れられています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内が公開され、外部研修に参加した職員から復命研修が行われ、活用できるように話し合いが行われております。また、独自に内部研修も行われております。	○	職員は意欲的に研修への参加を希望されておられます。職員育成のためにも、希望の研修への参加が出来るように配慮・工夫されることを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会への加入によって、情報交換等の交流が図られ、サービスの質の向上に繋がっております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が安心してサービスを利用できるように、入居前に見学によって理解を得られるように工夫をされ、違和感なく入れるように取り組まれております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントによって得た情報によって生活歴やこれまでの生き方を理解され、利用者本位の生活支援ができるように、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話の中で一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向が引き出せるように話し合いの場を設け、把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	思いや意向の把握に努め、本人がより良く暮らすための課題やケアの在り方について、職員会議等で話し合われ、反映されたケアプランが作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	半年を基準にケアプランが立案され、担当者会議によって話し合いが行われ、見直しが行われています。また、状態変化時には、随時見直しが行われております。	○	モニタリングの記載方法に工夫されることを期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設施設としての機能を活かし、各種の行事への参加や業務支援等で、また、利用者・家族の要望に柔軟な対応が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に利用されていたかかりつけ医や希望の病院受診が出来るように支援されている他、訪問歯科診療も行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者・家族へは、重度化した場合や終末期の在り方について、ホームの体制から限界があることを契約時に説明をされ、更に都度の説明によって、納得していただいております。また、職員は、方針を理解し、共有できております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、尊厳を持って接しております。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決められた日課についても、利用者本意の生活支援を念頭に接し、利用者一人ひとりのペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の作成や調理方法、下ごしらえや配膳・下膳等の一般的な家事も含めて、楽しみながら利用者の力を発揮できるように巻き込んだ食事が行われています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外、入浴は、毎日でも可能です。入浴できない時には、足浴や全身清拭が行われております。また、入浴を望まない利用者にも希望やタイミングを見ながら、どうしてもだめな時には家族の協力も得ながら、支援が行われています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や残存機能・能力を活かし、できること・できそうなことを見つけ出し、楽しみながら、自発的に関わりが持てるように支援されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム敷地内の草取りや畑づくり、近所の散歩、近隣文化施設の催しものへの参加、併設施設での行事への参加等々の他、冠婚葬祭等、利用者・家族の希望に沿った外出支援が行われております。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日中・夜間想定火災に対する訓練が、地域の方々の協力を得、消防署員立ち合いの下、年に2回行われております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状況を把握され、食事摂取状況や水分量に配慮され、併設施設の栄養士にアドバイスをもらいながら献立が作成され、栄養バランスのとれた食事が提供されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	対面式のキッチンから食堂・ホールが眺められ、桃の節句を前にお雛様が飾られ、植物や手作りの作品、ソファの配置等が家庭的な雰囲気を醸し出し、居心地良く快適な共有空間を作り出しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や手作りの作品、行事の写真等が飾られていたり、趣味とするパズルを自室で行っていたり、利用者本人が生活しやすいように、身の回りのものが持ち込まれ、意向に沿った生活スペースを作り出しています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。